

### 「これからの運動会」

- 先月号では、「明日の運動会ができるかどうかハラハラしているところ」と書きましたが、案の定、延期せざるを得なくなりました。それも順延でなく、異例の4日後の平日指定にしました。
- 日曜日の台風上陸が分かっていたためです。月曜日は給食カットの手配済みで休校が決定しており、晴れる予報の火曜日は運動場の整備や準備にかけることにしました。加えて、再び停電等で家庭の状況が大変な可能性の考慮もあり、水曜日実施としました。
- 結果として、新入児の競走と育友会種目2種目をカットして水曜日の午前中に開催。給食後は高学年が残って担当の片づけをする予定でした。しかし、思いの外、時間が伸びたので最終種目の「組体操2018」が始まったのは、日頃なら給食の時間でした。でも空腹を忘れるほど、時間を忘れるほどみんなが見入っていました。それほどの迫力あるひたむきな演技でした。
- うれしかったのは、育友会の方々はじめ、大勢の保護者の方々がこぞって片づけをして下さったことです。給食が遅くなったので、下校後、先生たちだけで片付けるつもりでしたが、あつという間の撤収には感動しました。本当にありがとうございました。
- さて、全国をみると、その運動会事情が変わりつつあります。
- 「スポーツの秋」というくらいですから、「運動会」は秋のイメージがあり、俳句の世界でも秋の季語になっています。しかし、東京23区と政令指定都市の調査によると今は2/3の公立小学校が春に行っているとのこと。理由は、秋は今年のように台風などで天候不順なうえ、練習期間中、近年は熱中症の心配もあること、遠足や修学旅行など他の行事との調整が難しいという事情だそうです。ちなみに和歌山市では春開催は50校中4校です。
- 本年度もトリを飾った高学年の「組体操」。ご承知の通り、数々の事故から危険性を指摘されて大阪市などは禁止の方針を打ち出すなどしています。和歌山市でも、同様の判断でダンスに移行している学校もあります。今年度の本校高学年は、その両方を披露しました。
- 保護者の弁当作り負担減のための「時短運動会」。これは延期で平日になった今年の本校のような午前中開催です。
- かつて運動会は地域あげてのお祭りとして、保護者でなくても近隣の人たちも気軽に参加し、昼には弁当を広げるとともに楽しむ光景がありました。漁師町では、全ての船が祝旗をあげて、その日は休漁にしてみんなが学校へ集ったのもそう遠い昔ではありません。
- 天候、安全性、家庭事情、様々な変化は時代とともにあって当たり前だと思います。本校のここ5年間でも、予備日確保のため開催を土曜日に行ったり、児童数減のためダンスや組体操を2学年で行ったりなど変化してきました。
- 今後の運動会は、今年から設置した「学校運営協議会」等で保護者の方々地域の方々と相談しながら子どもたちが心から楽しみ、子どもたちの力になる運動会を探っていこうと思います。《学校長》



貴志南小学校では、ホームページを設けています。<http://www.wakayama-wky.ed.jp/kishiminami/>

※写真等は児童個人を特定できないように配慮しています。